

夏瀬の森 だより

令和六年四月二十五日 第一〇三号
 田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

花びら舞う中 春祭 招魂祭



四月十一日、春祭
 および招魂祭を執り行
 いました。桜の花びら
 が舞い、鳥が鳴く鎮守
 の杜は清々しく、気持
 ちの良いお祭りを行う
 ことができました。餅投げも賑やかで、
 前日早朝から総代さん敬神婦人会の皆さ
 んでついた一石のお餅が、五分でなくな
 り、大勢の笑顔に変わりました。皆さま
 方のご奉仕ありがとうございました。



田殿丹生神社 御神像 御身代わり像の奉納奉告祭



として大変貴重な御神像です。この御神
 像は、令和三年から文化財保護と学術研

三月十七日（日）
 に「御身代わり像奉
 納奉告祭」を執り行
 いました。田殿丹生
 神社が所蔵する丹生
 都比売命（丹生大明
 神）と大名草彦命（高
 野大明神）の御神像
 は、最古の坐像（平
 安時代・十一世紀初
 めころの造像）と推
 測されており文化財

究のため、和歌山県立博物館に保管され



ています。和歌
 山県立博物館で
 は、教育機関の
 協力を得て、文
 化財の精巧な複
 製を制作し、寺
 製を奉納する取
 組が実施されて
 います。この複
 製の御神像は、
 和歌山県立和歌山工業高
 等学校の産業デザ
 イン科の学生が
 最新の3Dプリン
 ター技術によ
 り形作り、和歌
 山大学教育学部
 ミュージアムポ
 ランティアの方
 々が彩色を施し
 「御身代わり像」
 として再現され
 ました。



右側の二体が複製です

拝殿の御屋根を葺き替えました

石段を上がった
 ところの拝殿（鈴
 門）の屋根瓦を葺
 き替えました。木
 の葉が堆積し、雨
 漏り寸前のところ
 でしたが、総代様
 方、敬神婦人会の
 方々を始め、氏子
 様方からもご寄付
 をいただき、美し
 い姿に生まれ変わ
 ることができました
 た。工事中は参拝者の方々に迷惑をお
 かけしましたが、周囲の樹木の枝打ちや
 間伐も行い、拝殿が明るくなりました。



さらに清々しく氏神様に気持ちをお伝えすることができるとおもいます。お力を頂いた方々には心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

今年の春も桜花爛漫



花が終わり、美味しうると毛虫対策です。

三月末から陽光桜を皮切りに、しだれ桜、山桜、ソメイヨシノ、ぼたん桜と、境内の様々な桜が開花して境内を桃色に染めてくれました。カメラを手にも多くの方々が春の雰囲気を感じ、結婚式の前撮りやお弁当持参など、思い思いの楽しみ方でゆつくりと過ごしてくださいました。総代さん方の御世話のおかげです。さて、



そして、今年も楠の落ち葉との「春の陣」が始まりました。境内を美しい環境にするのが氏神様への第一の奉仕であり、祭典の式次第の一番初めが清掃であるともされています。しかしながら、なかなか行き届かないところもありたいへん恥ずかしいことですが、



これからも根気よく落ち葉と戦ってまいりますので、機会があれば助太刀賜りたく、どうぞお願い申し上げます。

今年の春もアオサギとの戦い



夏瀬の森の楠(県指定文化財)にたくさんのアオサギが営巣をし、枯れ枝が増えて困り果てていたところ、今年、氏子さんのお仲間入りをしてくれた鷹の「吹雪ちゃん」が一

肌脱いでくれています。いに素晴らしい仕事をしています。アオサギもカラスに負けずなかなかの曲者ですが、どうかこれからもよろしくお願います。



役員のご紹介

令和六年度の総代および敬神婦人会の役員をご紹介します。色々と無理なところとお頼みするかどうかとありますが、どうぞよろしくお願いたします。

総代会 (敬称略)

責任役員 森 勲(賢) 前田 晃(井口)
 総代年番 竹中 均(田口) 光定靖博(角)
 総 代 岡崎行男(倉屋) 岩祖敏昭(長良)
 江川正夫(田角) 三木沢己(大谷)
 河島正行(賢) 岩倉晴夫(船坂)
 薮村光博(出) 栗山昌之(尾中)
 山崎幸雄(長田) 辻 幸孝(井口)
 原山五郎(上中島)



敬神婦人会

竹中美保様(会長)と嶋田羊子様(会計)が退任され、新たに植田さんと井口さんがお仲間入りくださいました。新会長には松坂さんが就任されました。

会長 松坂幸美(井口) 会計 尾崎京子(船坂)
 副会長 植田典子(出) 副会長 井口裕子(大谷)

ホームページ・インスタグラム・フェイスブックでも情報を発信しています。